

先端材料の超塑性に関する国際会議

大阪大学 工学部 材料物性工学科

教授 堀 茂徳

(平成元年度国際会議等開催準備助成 AF - 89030)

1. 開催日時：平成3年6月3日～6日

2. 開催の場所：大阪国際交流センター
(大阪市天王寺区)

3. 開催に対する貢献：

本助成金により国際会議段階のファーストサーキュラー、セカンドサーキュラーなどの各種印刷物が作成可能となり、これらの開催案内などにより参加者および発表論文数においてこの分野では最大規模の国際会議とすることが出来た。

4. 国際会議報告：

1) 国際会議の名称：先端材料の超塑性に関する国際会議 (ICSAM - 91) INTERNATIONAL CONFERENCE ON SUPERPLASTICITY IN ADVANCED MATERIALS

2) 主催：先端材料の超塑性国際会議組織委員会

3) 組織委員長：堀茂徳 大阪大学教授 (現 帝京大学教授)

4) 開催期間：平成3年6月3日～6日

5) 参加者：185名 (国内123名、国外62名)

6) 会議の内容の概略

超塑性の基礎的分野での膨大な研究成果を踏まえ、今日では「超塑性の実用化」・「難加工材料の超塑性化」、が各界において精力的に試みられている。このような情勢のもと本国際会議が開催され、185名 (外国から62名) が参加して行われた。開催母体は「超塑性研究会 (宮川松男会長)」を中心とした組織委員会 (委員長：帝京大学 堀茂徳教授) で、実行委員長は立命館大学の時実正治教授、事務局長は大阪大学 古城紀雄助教授が務

めた。

今回の会議の目的は「超塑性に関する全ての基礎分野そして設計、成形などの超塑性の応用に関する研究者が一同に会し、建設的な議論と技術的意見交換の場をもつことである」とされた。これまでと同様、会場をひとつに限り、基礎から応用にまたがる広い領域、合金から金属間化合物、セラミックスなど多種にわたる研究対象材料と研究分野の異なる者同士が長時間にわたって議論の火花を散らした。

セッションは、まず I. Fundamentals Aspect of superplasticity で始まり II. Microstructural Dynamics in Superplasticity, III. Cavitation in Superplastic Deformation, と続き、ついで IV. Superplasticity in Ceramics, V. Superplasticity in Intermetallics, VI. Superplasticity in Metal Composites, VII. Superplasticity in Metals, VIII. Superplasticity at High Strain Rates, IX. Analysis and Application of Superplastic Forming (I) が設けられ、X. Poster session のうち XI. Analysis and Application of Superplastic Forming (II) と続き、XII. Summary and Topics of ICSAM - 91 で終えた。いずれのセッションにおいても、1ないし3件の招待講演、ついで一般講演の順で進行された。

なお会議論文集は11月中旬に発刊され124の最新の論文が掲載されている。

5. 本助成への謝辞

本財団の助成事業のひとつである「国際会議等開催準備助成」は、助成事業の中でも非常にユニークな性格であり、今回の会議のみならず多く

のこの種の企画の実現に不可欠であると思われる。殊に本助成の意図するように本会議についても実施の初動体制を確実かつ強力に支援して載いた。もとより会場内外の看板、プログラム、アブ

ストラクト集および会議論文に貴財団からの援助のもとに行われたことを明記しておりますが、ここに本会議論文集を謹呈申し上げ、併せて深く感謝申し上げます。